
正直になれない僕達は

須藤梨紅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

正直になれない僕達は

【Nコード】

N5168BA

【作者名】

須藤梨紅

【あらすじ】

APT X 4 8 6 9 の解毒剤の開発は不可能になった。

コナンは哀を信じていた。
だけど叶わなかった。

二人は引き裂かれ、また巡り合う・・・

コ哀です。

1 秘密(前書き)

新作です

コ哀です！

なるべく早く投稿しますので、どうか見守っていてくださいー！

1 秘密

ばらばらと白い雪。

今日も私は、隠していたことをあかせずにいた。

「それじゃあ博士、行ってきます。」

「哀くん、気をつけてな。」

あの薬を作り、あなたが被害を受け、解毒剤の開発に努めたけれど
とんでもないことが発覚してしまった。

もうもとは戻れない。

飲んでしまったAPT-X4869は、もともと死に至るほど強力な
もの。

だから、もちろん強い薬品が入っている。

それを解く薬など、まだ開発されていない。

今までのものはそれを和らげるもので、それが完全になくなること
はありえない。

私はこの姿のほうが楽だった。

組織にいたこと、お姉ちゃんをなくしたこと……

宮野志保の姿で起こしたことを、忘れられるような気がして。

だけど彼は違う。

蘭さんのもとに戻るといふ理由があるから。

だからこそ……

「よう、灰原。」

「おはよう哀ちゃん！」

「おはようございます、灰原さん！」

「灰原！今日オレなあ、朝飯うな重もどきだったぜ！」

「元太君……なんですかそれ。」

他愛のない話。

だけど私はそれに溶け込んでいるのだろうか？

「灰原。」

「……ああ、工藤君……」

「どうだ？開発のほう……」

胸が痛む。あなたを傷つけるかもと。

だけど……

「工藤君、よく聞いて。」

1 秘密（後書き）

至らない点があるとおもいますが、読んでくれてありがとうございます
ました

次回はコナンが爆発します。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5168ba/>

正直になれない僕達は

2012年1月14日11時51分発行